

# おおうち

大内はひとつ ～世代を超えて～

令和6年度～令和10年度  
大内地区地域計画書



大内地区住民自治協議会

# 目次

1. 会長あいさつ ----- (P 1)
2. 計画書を読むにあたって ----- (P 2)
3. 大内地区の現状と将来像 ----- (P 3)
4. アンケート調査の結果 ----- (P 4～9)
5. 地域計画書策定の流れ ----- (P 10)
6. 組織図 ----- (P 11)
7. 各部会の活動 ----- (P 12～21)
8. 活動内容をより良くするためのチェック体制 --- (P 22)
9. 計画策定にかかわった皆さん ----- (P 23)
10. 大分大学山浦ゼミ生からのメッセージ ----- (P 24)
11. 大内地区の魅力
  - 名所、旧跡、観光スポット等 ----- (P 25～26)
  - 地域マップ、地区データ ----- (P 27)



# 1. 会長あいさつ

大内地区  
住民自治協議会  
会長 廣石 康二



地域の皆さんには、いつも住民自治協議会の活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

一昨年、皆さんにご協力いただきました「大内地区地域計画策定のためのアンケート調査」の集計結果をもとに、約1年半のあいだ、計画策定委員会での話し合いを重ね、このたび地域計画書を策定しました。

また、地域計画の策定にあたり、私たちの日常生活をも脅かしたコロナ禍の真っ只中にも関わらず、ご支援いただきました大分大学経済学部山浦ゼミの皆さん、英知を分かち合ってくださいました策定委員の皆さん、そして、計画策定にご協力いただきました皆さん、大変ありがとうございました。

これから皆さんと一緒に、安心して住みよい地域づくりを目指し、“大内はひとつ～世代を超えて～”のスローガンのもとに活動していきたいと思っておりますので、ご協力のほどお願い申し上げます。

## 2. 計画書を読むにあたって

### ◎住民自治協議会とは・・・

大内地区住民自治協議会は、住民相互の交流と親睦を図り、生活の安全、改善に努力し、文化・福祉の向上と豊かで住みやすい地域づくりに寄与することを目的とし、地域内の住民、各種の団体が連携・協力して、地域課題を協議、解決する組織です。

大内地区の特色を活かした組織として、その時々の課題への対応はもちろんのこと、この地域計画書に基づいた、未来を見据えた事業を実施していきます。

### ◎「地域計画書」とは・・・

住民自治協議会の今後5年間の活動、組織の運営方法の指針となるものです。分野ごとの活動内容や中心となって活動する役員・部会員、組織の運営などが書いてあります。

また、この計画書は、住民自治協議会役員会を中心に住民アンケートをとり、住民の実態やご意見を踏まえて作成したものです。市職員の方々や大分大学山浦ゼミの学生の皆さんからも支援をいただきました。

### ◎計画書で大事にしたいこと

策定委員会では、計画書を作るにあたって、

- ①「読みやすいものに」
- ②「知ってもらおう」
- ③「みんなで参加するよ」

の3つのコンセプトを考えました。

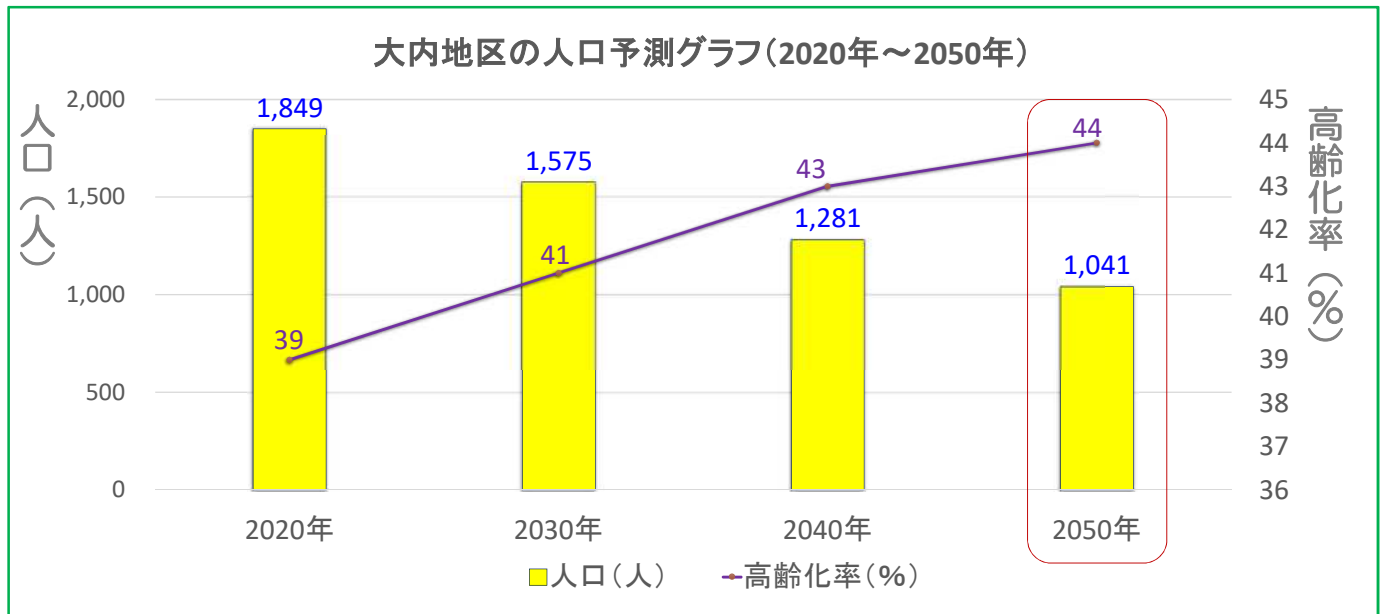
計画書を読んでもらって、活動を知ってもらい、みんなで参加したくなる計画書づくりに取り組みました。



(作) 1年ふじたさちさん

### 3. 大内地区の現状と将来像

#### (1) 大内地区の人口はどうなる？



※杵築市役所協働のまちづくり課より資料提供 「2020-25コーホート人口予測」より引用。

##### <人口推移>

2020年(令和2年)に1,849人あった大内地区の人口は、現状のまま推移すると、30年後の2050年(令和32年)には約800人減少し、1,041人になると予測されています。

##### <高齢化率>

人口の年齢構成で65歳以上が占める割合は、2020年(令和2年)の39%から、2050年(令和32年)には5%上昇し、44%になる見込みです。

これらの要因として、少子高齢化、若者人口の流出などが考えられ、ここ数年は、コロナ禍の影響でさらに厳しい状況となっています。このことは杵築市全体の問題でもあり、この状況に歯止めを掛ける対策を講じる必要があります。

#### (2) 大内地区が目指す将来像

住民自治協議会では、人口減少・少子高齢化が進む中でも、

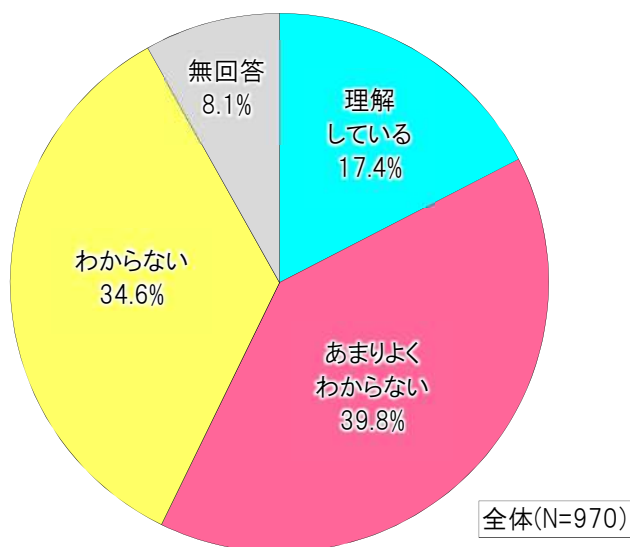
**“豊かで元気な大内地区”**の実現に向けて、今後の地域づくりに取り組んでいきます。

## 4. アンケート調査の結果

2021年（令和3年）12月に実施しました住民アンケートへのご協力ありがとうございました。ここでその一部をご紹介します。

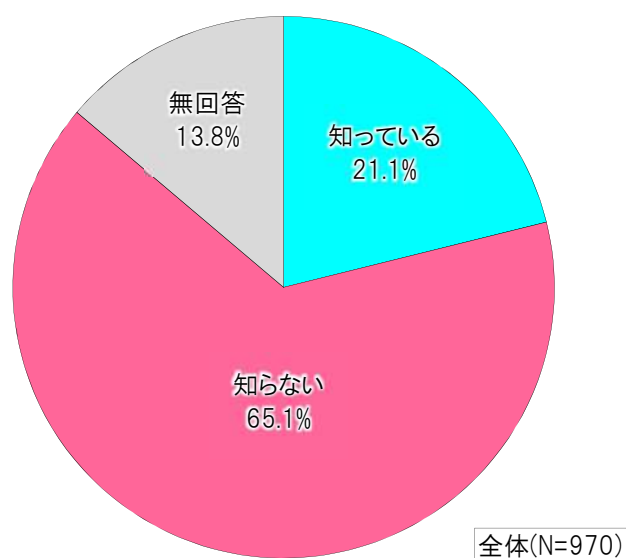
【アンケート回答者数：970名】

### 1) 住民自治協議会がどのような組織か理解していますか？



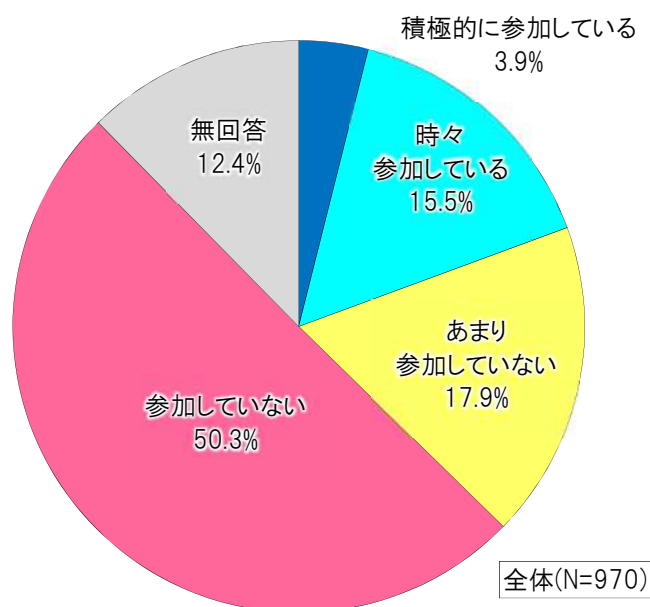
「理解している」が17.4%。  
それに対して、  
「わからない」、「あまりよくわからない」と回答した人は合わせて74.4%いました。

### 2) 住民自治協議会の活動や行事を知っていますか？



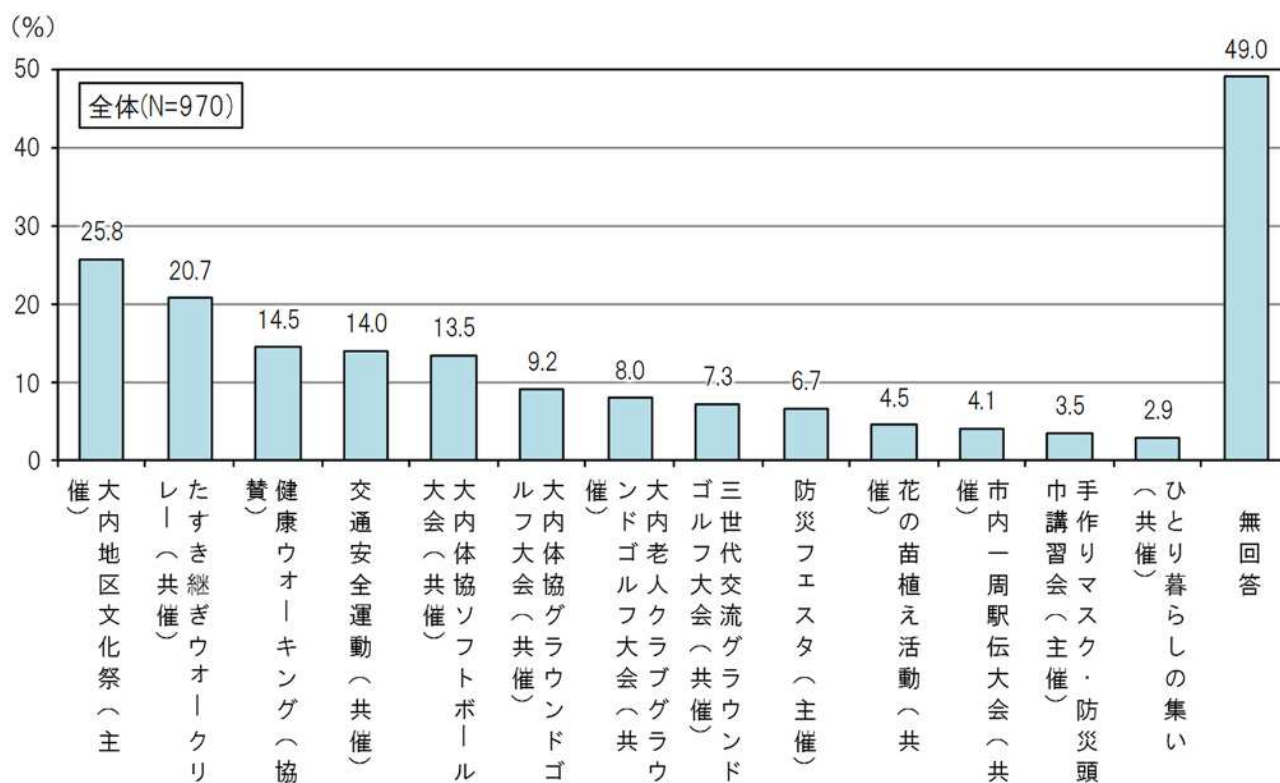
「知っている」が21.1%。  
それに対して、  
「知らない」と回答した人は65.1%いました。

### 3) 住民自治協議会の活動や行事には参加していますか？



「積極的に参加している」、  
「時々参加している」という人は合わせて19.4%。  
それに対して、  
「参加していない」、「あまり参加していない」と回答した人は68.2%いました。

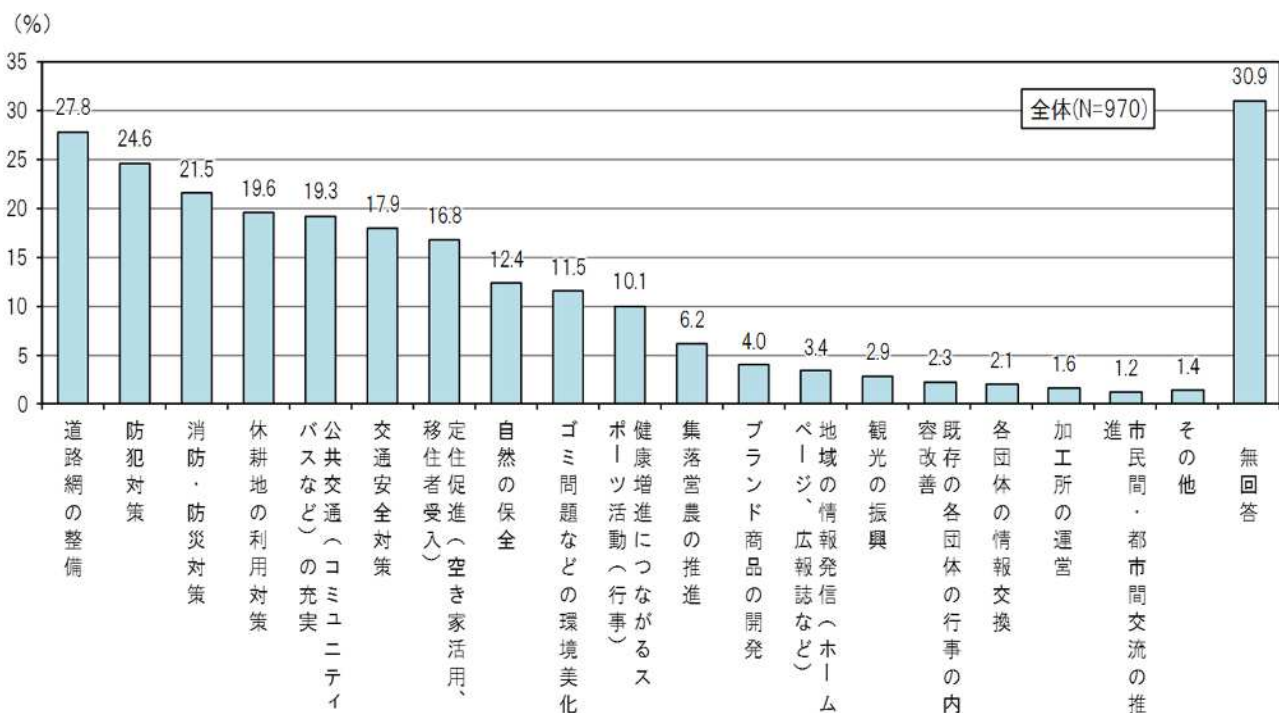
### 4) 住民自治協議会のどのような活動や行事に参加していますか？



無回答を除き、1番多かったのは「大内地区文化祭」が25.8%。  
2番目に「たすき継ぎウォークラリー」、3番目に「健康ウォーキング」という結果でした。

## 5) 住民自治協議会が今後実施すべき活動として何に期待しますか？

### (1) 地域づくり



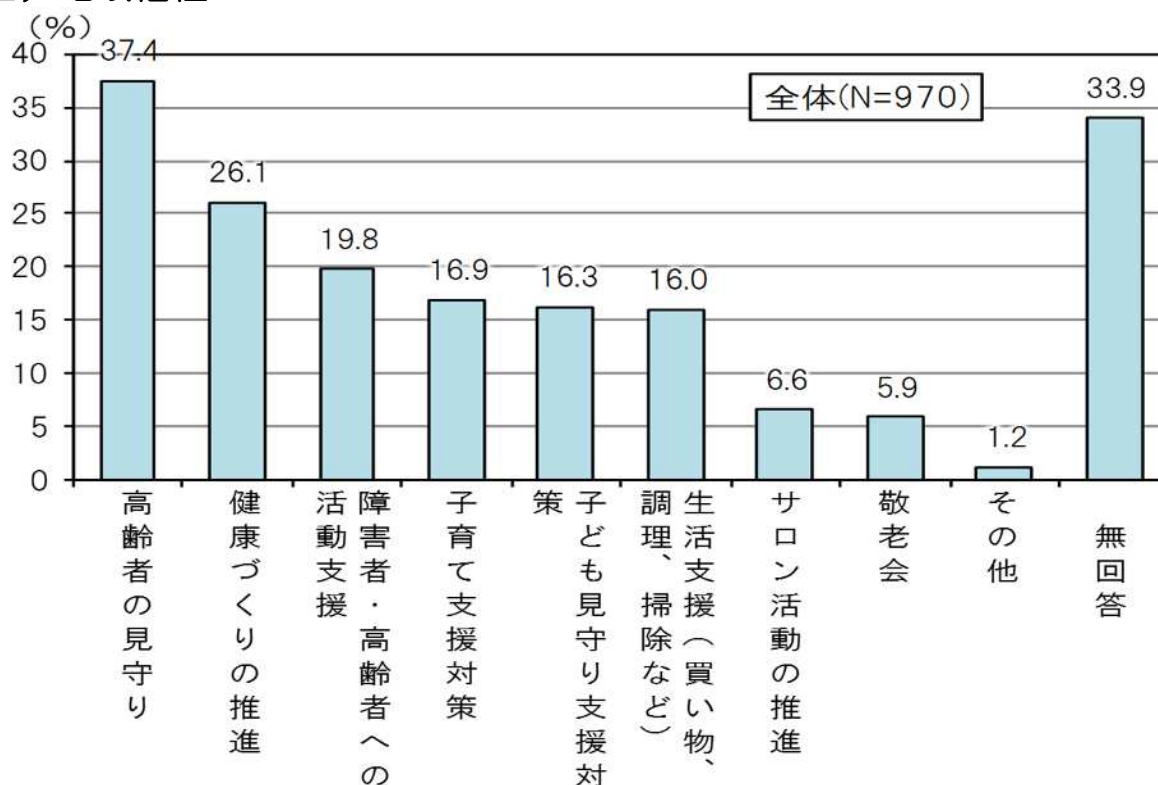
無回答を除き、1番多かったのは「道路網の整備」が27.8%。  
2番目に「防犯対策」、3番目に「消防・防災対策」という結果でした。

#### 【実施してほしい具体的な内容】※一部を紹介します。

- 通学路の整備、安全確保
- 地区をまたぐウォーキングコースPR
- 地域の情報発信（広報誌等で活動内容PR）
- 消防、防災、防犯、交通安全対策を今後も継続してほしい。
- スポーツ大会、コミュニケーションの場の集い
- 市道や地区道の草刈りや修繕、除草隊やお助け隊の結成
- 健康教室等を地区公民館などで開いてほしい。
- 美化活動の実施



## (2) 地域福祉

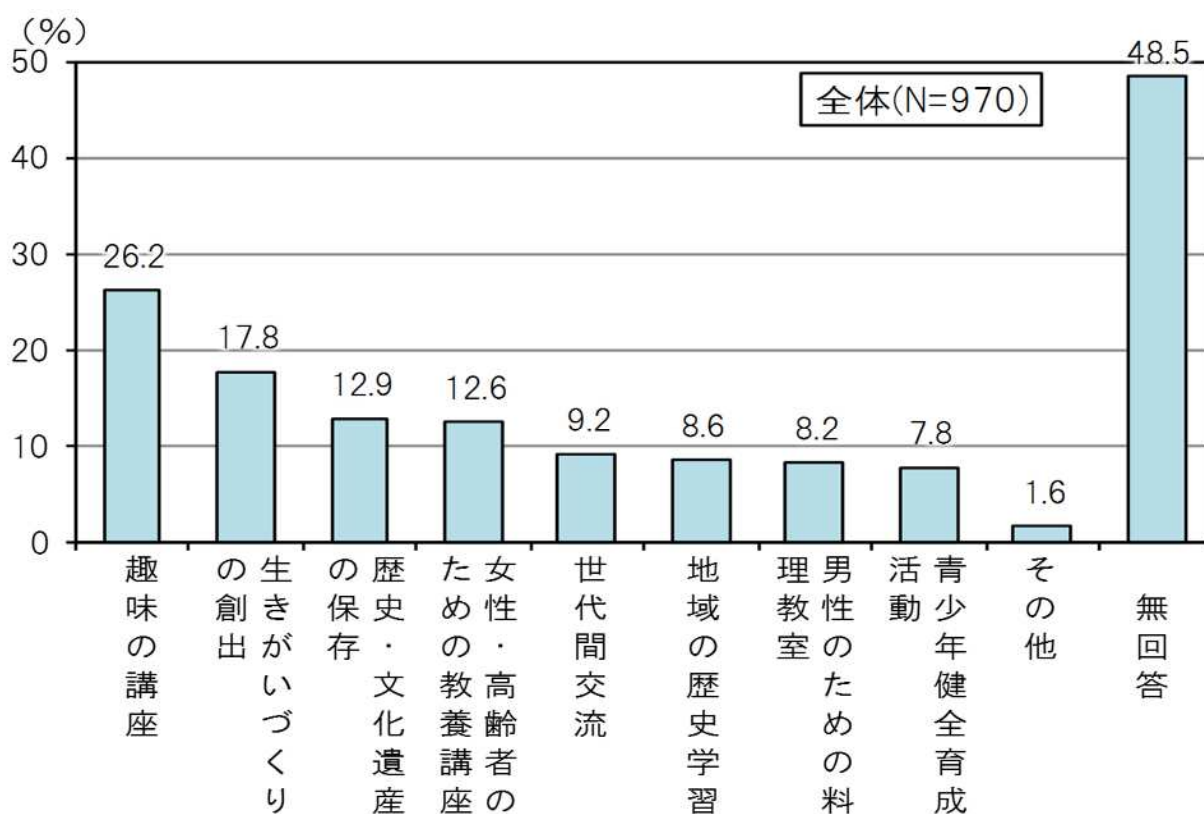


無回答を除き、1番多かったのは「高齢者の見守り」が37.4%、2番目に「健康づくりの推進」、3番目に「障害者・高齢者への活動支援」という結果でした。

### 【実施してほしい具体的な内容】※一部を紹介します。

- 高齢者が集えるような会があればと思う。
- 老人主体の健康推進体操
- サロン活動で孤独の解消を
- 一人暮らしの方への見守り、生活支援の充実
- 子育て世代の方々との情報交換できる場所の開拓
- 子ども、高齢者がお互いに気にかける関係が築ける活動
- まずは健康であることから、定期健康診断を受診することの勧め

### (3) 生涯学習



無回答を除き、1番多かったのは「趣味の講座」が26.2%。2番目に「生きがいがづくりの創出」、3番目に「歴史・文化遺産の保存」という結果でした。

【実施してほしい具体的な内容】※一部を紹介します。

- 認知症防止のための講座
- スマホ、パソコン等の講座
- 生け花や手芸など
- 地域の人と仲良くなる機会としてイベントを行う。
- ゴミを拾い、環境を守る活動
- 大学との連携、専門知識や趣味の勉強会など
- 地域の歴史、文化財等の学習をしたい。

## << アンケートの結果から見えてきたもの >>

### ●自治協の組織運営の課題については・・・

①認知度が低い

②高齢化

③若者の理解度・参加率が低い

が上位に挙がってきました。

### ●自治協活動に関する課題については・・・

①高齢化

②幅広い世代の参加が少ない

③広報活動の不足

④自治協のスポーツ活動（種目・ルール問題）

が上位に挙がってきました。

これらの課題を踏まえ、5つの専門部会に分かれて、

“豊かで元気な大内地区”の実現に向け、地域で行いたい活動案を検討してきました。



(作) 幼稚園 えぐち まゆ さん

## 5. 地域計画書策定の流れ

『大内地区地域計画策定のためのアンケート』を基に約1年半、策定委員会で話し合いを重ね、計画策定に取り組みました。

【令和3年】  
2021年12月～  
アンケートの  
配布・集計

【令和4年】  
2022年 7月  
計画書づくりの  
方向性決定

7月  
今後の  
スケジュール  
検討

10月  
広報部誕生

8月・9月  
アンケート分析  
(自治協の組織・  
活動について)

10月～12月  
既存の活動見直  
し、新たな活動の  
検討

【令和5年】  
2023年 1月～4月  
活動内容検討

5月～7月  
計画書の  
スローガン・計画書  
で大事にしたいこと  
の決定

9月・10月  
計画書作成

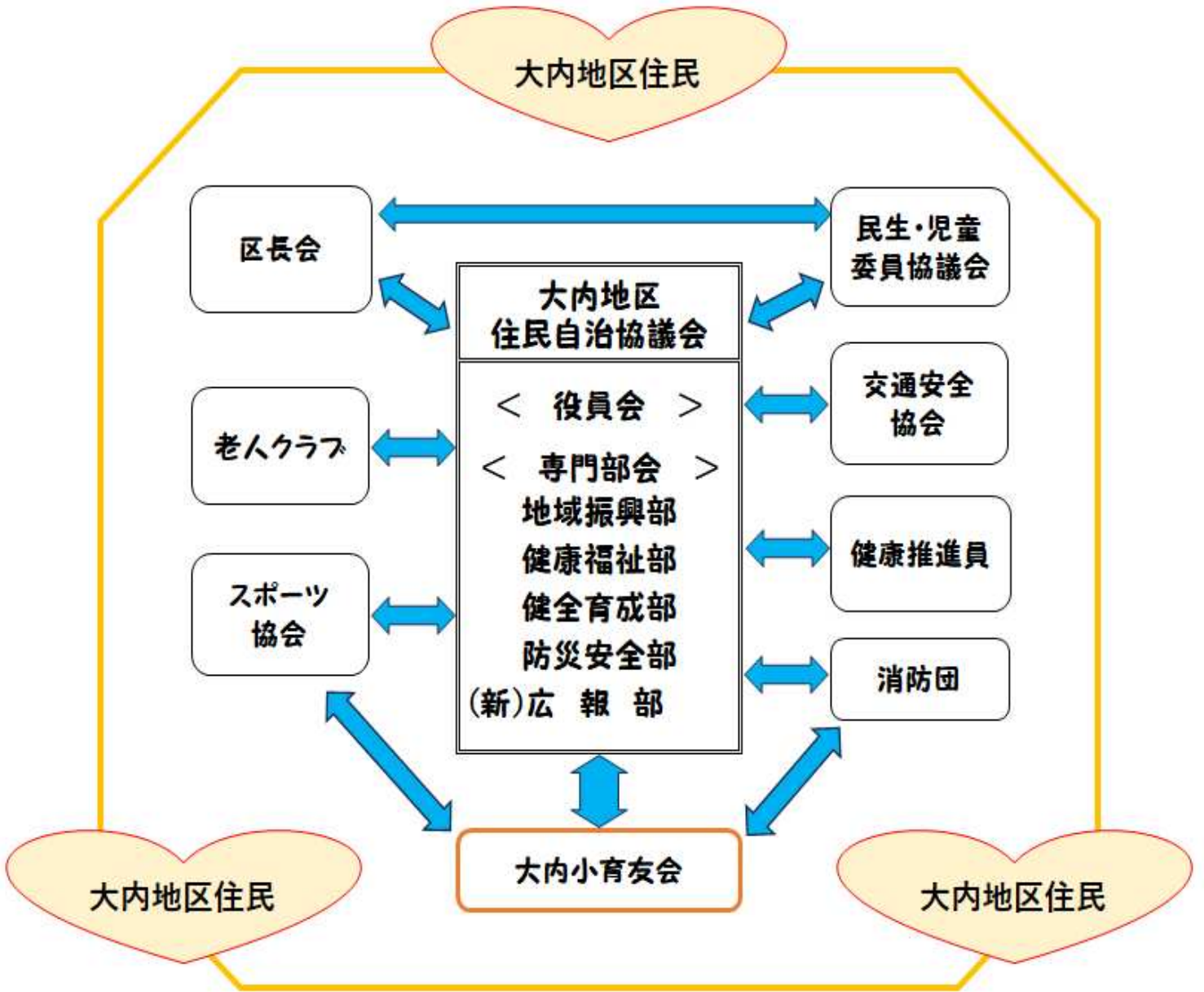
7月・8月  
計画書の  
構成・内容検討

10月  
計画書の  
確認・修正

11月  
最終確認

計画書完成！

# 6. 組織図



(作) 2年 くまもと あいご さん



(作) 2年 やまうち りあん さん

## 7. 各部会の活動

### (1) 地域振興部

#### ●キャッチフレーズ

『子どもからお年寄りまで安心して暮らせる地域づくり』

活動を通じて、幅広い世代間の交流と親睦を図り、安心して暮らせる地域づくりを目指します。

#### ●活動内容

<現在行っている活動>

##### 1. 大内グラウンド維持整備

大内区長会と連携して、グラウンドゴルフ大会前及び適時、G. G.愛好者による草刈り、整備活動を行います。

◎約20人が参加しています。

##### 2. 小物作成講習会（9月）

古着などを使った小物作成を通じて、交流を図ります。

◎約10人が参加しています。



##### 3. たすき継ぎウォークリレー（10月）

3つのコースを設定して、大内地区内をたすきリレーで競います。

◎約20人×11区が参加しています。



#### 4. 大内地区“大内わっしょい祭”（10月or11月）

お祭りを通して、世代間交流・地区親睦・防災の啓発を図ります。  
◎約200～300人が参加しています。



#### <新たにはじめる活動>

##### 1. 交流サロン活動（3か月に一回）

高齢者のPC・スマホ教室、子ども・高齢者との食事会などを開催します。

◎高齢者10人ほど、子ども20人ほどの参加を見込んでいます。



##### 2. お助け会（随時）

区ごとにボランティア組織を作り、高齢者の生活支援・見守りなどを行います。



## (2) 健康福祉部

### ●キャッチフレーズ

『運動を通して健康で自分らしく生きよう!』

ソフトボールやグラウンドゴルフなど各種大会の開催や参加を通して、住民の交流・親睦・健康増進を図ります。

### ●活動内容

＜現在行っている活動＞

#### 1. 健康ウォーキング（秋）

健康と親睦のため秋に全世代で実施します。

◎約50人が参加しています。



#### 2. ひとり暮らし市外研修（6月）

杵築市社会福祉協議会の協力により、県内各地域に行き、研修を行います。

#### 3. ソフトボール大会（6月下旬～7月上旬）



スポーツの振興、体力向上、住民の親睦を図ります。

◎約60人が参加しています。

（主催：杵築市スポーツ協会大内支部）

#### 4. 大内地区グラウンドゴルフ大会（8月下旬）

住民相互の健康と親睦を図ります。

◎約50人が参加しています。

（主催：杵築市スポーツ協会大内支部）





## 5. 市民スポーツ大会参加（10月の第2日曜日）

地区住民の健康推進を図ります。

◎約60人が参加しています。

## 6. 大内地区健康づくりグラウンドゴルフ大会&きつみんな体操（秋）

住民相互の親睦を深め、健康増進を図ります。

◎約50人が参加しています。



## 7. 三世代交流グラウンドゴルフ大会（12月下旬）

祖父母、父母、子ども、先生との交流、  
体力づくり、住民相互の親睦を図ります。

◎約80人が参加しています。

（主催：杵築市スポーツ協会大内支部）



## 8. 市スポーツ協会支部対抗駅伝競走大会参加（2月）

大会に参加して、世代間交流を図ります。

◎約20人が参加しています。



## <新たにはじめる活動>

### 1. 健康診断受診

（年1回、市健康診断を活用）

健康寿命の延伸、会社勤め以外の人  
の受診率向上のため、声掛け、広報を  
行います。



### (3) 健全育成部

#### ●キャッチフレーズ

『自然とのふれあいを通し、笑顔あふれる地域づくり』

子どもたちとの田植えや稲刈り、環境美化などの活動を通じて、自然とのふれあいを大切にした地域づくりを目指します。

#### ●活動内容

＜現在行っている活動＞

##### 1. 自然体験学習（6月～3月）

児童・園児に田植えや稲刈り等の自然体験学習を通じてふるさと学習・地域交流を図ります。 ◎約20人が参加しています。



##### 2. 通学路の草刈り活動（6月～9月）



児童・園児の安全通学のため、通学路を整備します。

◎約10人が参加しています。



### 3. ふれあい交流活動（2年に1回、10月～11月頃）

自然や動物とのふれあい活動を行います。

◎約30人が参加しています。



### 4. 花の苗植え活動（11月）

地域の環境美化を推進します。

◎約150人が参加しています。



### <新たにはじめる活動>

#### 1. ふれあい工作展（9月）



作品を通じて  
地域の人と触れ合い、  
世代間交流を行います。

#### 2. 遠足（歴史学習支援）（11月）

地域の歴史学習支援の一環として、  
鍛錬遠足の中で、地域の歴史や  
史跡を巡り、見識を広めます。



## (4) 防災安全部

### ●キャッチフレーズ

『**支え合う 安心・安全で元気な地域づくり**』

交通安全や防犯・防災の取組、草刈り等のボランティア活動を通じて、支え合い、安心・安全で元気な地域づくりに取り組みます。

### ●活動内容

＜現在行っている活動＞

#### 1. 交通安全街頭指導（4月：お餅配布、毎月2回：街頭指導）

大内地区管内の街頭指導で事故ゼロ運動を実施します。

4月は信号機を模したお餅（赤・青・黄）とチラシを配付して啓発を行います。

◎約50人が参加しています。

（お餅作り30人、街頭指導20人）



#### 2. 交通安全運動・啓発立て看板製作（12月）

安全運転、安全意識向上のため、管内道路に交通安全啓発看板を設置します。◎役員5人が参加しています。



## ＜新たにはじめる活動＞

### 1. 避難訓練プログラム＋避難所運営研修（春、秋）

避難所のスムーズな運営訓練、非常用持ち出し袋の確認、防災食の試食などを体験し、災害時の行動を学びます。



### 2. 防災ポスターカレンダー配布（8月～12月）

大内小学校の協力で作成した防災ポスターをカレンダーにして配布します。



### 3. 防災コーナー設置（10月～11月）



防災意識向上のため、大内わっしょい祭で消防団積載車等の展示や放水見学などを実施します。

### 4. 草刈り・支障木伐採の有償ボランティア

（5月、8月、1月、2月）

各地区草刈りや支障木伐採のボランティアを募集し、参加人数が少ない地区等の人的支援を行います。



## (5) 広報部

“住民自治協議会はこんな活動をしているんだ。”

“私も参加してみようかな。”

というふうに、自治協の活動を地域住民の皆さんに知ってもらい、そして「参加」してもらうために広報活動を行います。

### ●活動内容

#### 大内地区住民自治協議会新聞

#### 「ほのぼの」の発行（年数回）

- 大内自治協が行っている活動や今後の活動をお知らせします。
- 紙面を通じて地域の課題などを地域住民の皆さんと共有します。



## 広報部員 募集中!

広報部は、現在5名で取材や紙面の作成など、話し合いながら楽しく行っています。

“自治協の活動に興味がある!” “写真を撮るのが好き!”

“パソコンが得意だ!” “イラストを描くのが好き!”

などの方は大歓迎です。

新聞作成に興味のある方は、ぜひ一緒にやってみませんか!?

〔連絡先〕 大内地区住民自治協議会 事務局

TEL: 0978-63-2119

## 【年間の活動予定一覧】

実施予定時期	新規活動	活動名	主催
5月、8月、1月、2月	新	草刈り・支障木伐採の有償ボランティア	防災安全部
春、秋	新	避難訓練プログラム+避難所運営研修	防災安全部
6月		ひとり暮らし市外研修	健康福祉部
6月下旬～7月上旬		ソフトボール大会	健康福祉部
6月～9月		通学路の草刈り活動	健全育成部
6月～3月		自然体験学習	健全育成部
8月～12月	新	防災ポスターカレンダー配布	防災安全部
8月下旬		大内地区グラウンドゴルフ大会	健康福祉部
9月		小物作成講習会	地域振興部
9月	新	ふれあい作品展	健全育成部
10月第2日曜日		市民スポーツ大会参加	健康福祉部
10月		ふれあい交流活動	健全育成部
10月		たすき継ぎウォークリレー	地域振興部
10月or11月		大内地区”大内わっしょい祭”	地域振興部
10月or11月	新	防災コーナー設置（大内地区文化祭にて）	防災安全部
11月		花の苗植え活動	健全育成部
11月	新	遠足（歴史学習支援）	健全育成部
秋		健康ウォーキング	健康福祉部
秋		健康づくりグラウンドゴルフ大会&きつみん体操	健康福祉部
12月		交通安全運動・啓発立て看板製作	防災安全部
12月下旬		三世代グラウンドゴルフ大会	健康福祉部
2月		市スポーツ協会支部対抗駅伝競走大会参加	健康福祉部
毎月		交通安全街頭指導	防災安全部
3カ月に1回	新	交流サロン活動	地域振興部
随時	新	お助け会	地域振興部
年1回	新	健康診断・健診受診（市健康診断を活用）	健康福祉部
不定期		大内グラウンド維持整備	地域振興部

## 8. 活動内容をより良くするためのチェック体制

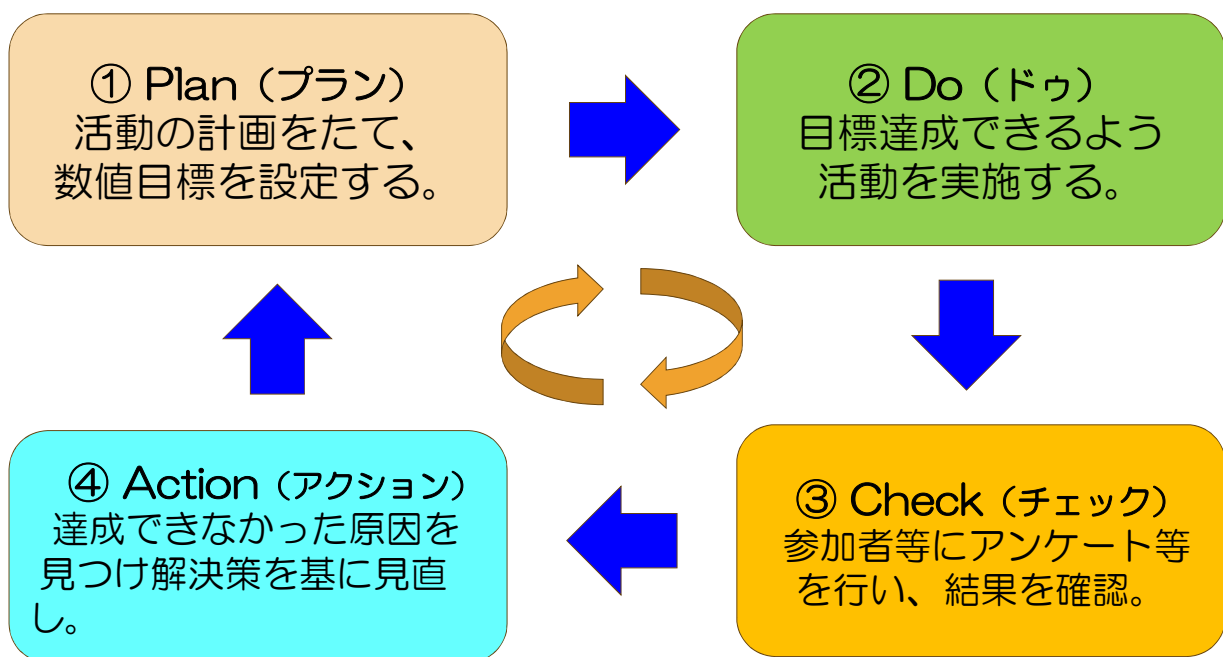
### 1) 活動内容をより良いものにするには？

この計画書に合った活動ができているかを確認して、できていなければ、その原因を見つけて、より良い活動になるための解決策を考え、見直しをします。

### 2) 活動内容をより良くするためのチェック体制とは？

計画策定委員会の委員を中心に構成する「**検証委員会**」をチェック機能を担う組織として設置します。  
※メンバーは役員会にて決定する予定です。

### 3) チェック機能の流れ (PDCAサイクル)



(作) 幼稚園





## 9. 計画策定にかかわった皆さん

令和4年7月からこれまで、1年以上にわたり計画策定に取り組んできた策定委員会のメンバーを紹介します。

### 大内地区地域計画策定委員会

〔会 長〕 廣石康二

〔副 会 長〕 藤原英爾・村上美代子

〔顧 問〕 田中正治・田原祐二

〔会 計〕 小田佳彦

〔事 務 局〕 川田秀樹 (R5. 3月まで)

江藤昌士 (R5. 4月から) (作) 1年ほりしんいちろう さん



〔地域振興部〕 藤原英爾、村上美代子、井上 寛、藤原信之、古城松吉、成久敬司、植村敬史、清原繁三、光本義則、森本 茂、藤原哲夫、麻生和生、荒本文治

〔健康福祉部〕 田原祐二、小田佳彦、豊田洋司、麻生母忠、徳丸隆彦、成久博子、坂本しのぶ、大西信也

〔健全育成部〕 廣石康二、阿部右京、手島 淳、吉川糸代、川田秀樹、水元弥生、佐藤美香

〔防災安全部〕 田中正治、藤原力男、白井政夫、麻生 勝、諸富 隆、木元一徳、藤原隆行、小田豊文、秦 琢哉、田中俊治、堀 敬一

〔広 報 部〕 井上 寛、阿部右京、徳丸隆彦、藤原隆行、麻生裕二

〔大分大学経済学部山浦ゼミの皆さん〕

山浦陽一准教授

片野孝祐、近藤 英、高倉涼音、豊島なつみ、西川昂佑、牧里保子、大塚郁実、後藤愛花、竹中友紀、吉田柊吾、佐藤健慎、片伯部美咲、山内陽香梨、酒井聖治、岩崎美空、小谷実優、高見衣吹、片岡菜月

## 10. 大分大学山浦ゼミ生からのメッセージ

計画書作りを通じて大内地区を深く知り、仲間ができました！  
このパワーで大内をさらに盛り上げて行きましょう！  
大分大学准教授 山浦陽一



これから計画書をもとに大内地区の活動がさらに活発になるのが楽しみです！  
片野孝祐



計画書をもとに大内地区の暮らしがより良いものになることを願っています！  
応援してます！近藤 英



計画書作成に携われたことを嬉しく思います。大内がもっと素敵な地域になりますように！  
高倉涼音



計画書を作成する上で大内地区の地域の方と関わることができ、自分としてもたくさん学ばさせていただきました！  
豊島なつみ



この計画書をもとに数年後、大内がより活気溢れる地域になることを信じています！  
西川昂佑



計画書作成の際は大変お世話になりました！大内地区が今後どの世代にとっても素晴らしい地区になることを願っています！  
牧里保子



この計画書を通して、地域の皆さんの暮らしがより良くなることを願っています！これからも応援しています！  
大塚郁実



計画書作成に携われて光栄です！大内地区の魅力が多くの人に伝わることを願っています！  
後藤愛花



大内地区が更に魅力溢れる素敵な地域になることを願っています！応援してます！  
竹中友紀



大内地区の方と計画書を作れて本当に嬉しいです！ぜひ大内地区の活動に参加したいです！  
吉田柊吾



# 11. 大内地区の魅力

## 【大内地区の名所・旧跡】

### ①大内山天満社（東大内山区）



明治8年から10年にかけて菅原の大神と山浦に祓神として祀られていた両社を合祀して現在地に遷座され、大内山天満社として、東西大内山区民の氏神様として崇め尊ばれています。

### ②光月の宝篋印塔（東大内山区）



墓塔・供養塔として使われる仏塔で、建立されているこの一帯は字を光月といいます。  
この宝篋印塔は「虎御前」と呼ばれています。

### ③高山弘法大師（西大内山区）



文政8年に四国八十八所第十二番の御本尊である虚空蔵菩薩を安置したのが始まりで、大正14年に四国八十八所の写し霊場になり今に至っています。病氣平癒・五穀豊穡の御利益。

### ④薬師堂（西大内山区）



病氣平癒等の御利益がある薬師如来をお祀りしています。平成6年1月にお堂を新築して現在に至っています。

### ⑤朝霧神社（藤ノ川区）



1580年、農民の立て籠りを鎮圧した阿波守鎮忠が引き返す途中馬と共に川に転落し、藤川にたどり着き息絶えました。里人の情けでこの場所に葬られ、朝霧社と名付けられ、牛馬の守護神として敬われています。

### ⑥貴船神社（藤ノ川区）



1483年5月下旬より湯水により困窮し、貴船大神に祈雨したところ慈雨。奉謝のため、同年7月に社殿が建立されました。全国に約500社を数える貴船神社の一つ。

### ⑦虚空蔵様（小狭間区）



広大な宇宙のような無限の知恵と慈悲をもった菩薩で、知恵・知識・記憶といった面で御利益をもたらす菩薩様をお祀りしています。社の側には数々の石塔や磨崖仏があります。

### ⑧山神社（篠原区）



600年以上の古き由来のある山神社であり、1887年に現在の場所に移りました。万物生産の神を祀り、山の恵みを受けるよう感謝を捧げるため、地区で採れたお米や野菜、果物などを供え、五穀豊穡を願い、夏と冬に祭事を行っています。

### ⑨薬師堂（篠原区）



社の中には、「第二十番奥ノ院阿波国鶴林寺」のご詠歌が掲げられており、年に一度、3月末の日曜日に区民が参加してお祭りを行い、区民の健康を祈願しています。

### ⑩昭和9年2月道路改修記念碑（篠原区）



当時の杵築町町長：安田直正の時に、交通の利便性を図るため、区の道路拡幅等の改修工事を行い、馬が通れるようになったと記されています。翌年の3月21日に建立されています。

### ⑪山神社（菅尾区）



菅尾公民館の敷地の前にあり、左の石祠が山神社。その右には摂社やお弘法様が並び、この右にはと、道路に背を向けて庚申塔が立っています。山神社は安産祈願のほか、造材木材関係の人々の守護神として尊ばれています。

### ⑫道しるべ（菅尾区）



菅尾公民館の入口に古い道しるべが立っています。「右ふるいち 左ふたご」と書かれていて、右は「ふるいち」つまり武蔵町へ。左の「ふたご」つまり西武蔵（両子寺）方面を指しています。道しるべの下部に刻まれた一字は梵字と思われます。道中の安全を願い建立されたものと思われます。

### ⑬孝高石（草場区）



キリシタン大名であった黒田孝高（官兵衛）が、石垣原の戦いに先だつて杵築城の支援に向かった際に船を繋いだとされる石が現存しています。

### ⑭孝高橋（草場区）



孝高石の側に架かる橋で、架橋碑が建立されています。別名「道半橋」とも呼ばれ、この橋は以前、映画のロケ地にもなりました。また、縁結びのパワースポットとも言われています。

### ⑮草場社（草場区）



神社の拜殿を造り替えて公民館となっています。敷地には鳥居、狛犬、石灯籠が立ち、境内隅には摂社が並んでいます。ここでは年2回、大祭と豊作祈願祭を行っています。地区の中心的な場所となっています。

### ⑯愛宕將軍地蔵尊（草場区）



地区の丘の上にある看板が目印。小さい社の中に15体の地蔵尊が祀られています。この場所は「弘法大師第40番札所」と記されており、年に一度祈願祭が行われています。

### ⑰辰ヶ鼻千手観音（永代橋区）



100年以上前にご先祖の皆様が塩浜住民の幸福を願い、辰ヶ鼻に祀っていたが、現在は永代橋区民をお守りしていただくことを祈願して、立派なお社の中に安置されています。

### ⑱開拓記念碑（三光坊区）



昭和32年、農林省の新開拓営農第七類モデル地区の指定を受け、国が開墾に着手しました。この開墾は全国で初めての大型機械（ブルドーザー）による画期的なものだったそうです。開墾は昭和34年に完了。入植者40戸を選定し、土地を配分して、みかん苗木が植えられました。その記念として地区公民館内に建立されています。



【地域マップ】



【地区データ (R5. 8月末現在)】 行政区名：世帯数／人口

- |                    |                   |
|--------------------|-------------------|
| • 東大内山区：187世帯／366人 | • 西大内山区：71世帯／153人 |
| • 藤の川区：78世帯／160人   | • 茅場区：38世帯／79人    |
| • 小狭間区：38世帯／83人    | • 篠原区：45世帯／92人    |
| • 菅尾区：26世帯／53人     | • 草場区：87世帯／159人   |
| • 永代橋区：172世帯／326人  | • 新興区：65世帯／147人   |
| • 三光坊区：30世帯／60人    |                   |

〔大内地区計：837世帯／1,678人〕

# 大内地区地域計画書

## (令和6年度～令和10年度)

- ▣発行年月 令和5年12月
- ▣制作・発行 大内地区住民自治協議会
- ▣表紙風景 東大内山区から眺めた大内地区  
(CG加工あり)
- ▣マップ 竹中友紀さん(大分大学)
- ▣イラスト提供 大内小学校・大内幼稚園
- ▣編集協力 大分大学経済学部山浦ゼミ